

3年生実践からみる 指導と評価

1. 単元名 「事故や事件からまちを守る」～もっと安全なまちへ、Aまちのひみつ～

2. 学校教育目標と社会科で目指す子どもの姿

(省略)

3. 単元目標

事故や事件から地域の安全を守る働きについて、警察署などの施設や設備などの配置、緊急時への備えや対応などに着目して、見学・調査したり地図などの資料で調べたりしてまとめ、警察署などの関係機関や地域の人々の相互の関連や従事する人々の働きを考え、表現することを通して、警察署などの関係機関は、地域の安全を守るために、相互に連携して緊急時に対応する体制をとっていることや、関係機関が地域の人々と協力して事故や事件の防止に努めていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追及・解決し、学習したことを基に地域の安全を守るために地域社会の一員として自分たちができることを考えようとする態度を養う。

4. 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①警察署などの施設・設備などの位置や分布、緊急時への備えや対応などについて、警察署などの関係機関や関連する施設を見学・調査したり資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、警察署や地域の人々の諸活動を理解している。 ②調べたことを関係図や文などにまとめ、警察署などの関係機関は地域の安全を守るために、相互に連携して緊急時に対処する体制をとっていることや、関係機関が地域の人と協力して事故や事件などの防止に努めていることを理解している。	①警察署などの施設・設備の位置、緊急時への備えや対応などに着目して、問いを見出し、関係機関や地域の人々の諸活動について考え表現している。 ②連携・協力している関係機関の働きを比較・分類したり、関連付けたりして警察署などの関係機関に従事する人々の活動と地域の人々の生活を関連付けて、従事する人々の働きを考えたり、学習したことを基に地域や自分自身を守るためにできることを考えたり選択判断したりして表現している。	①事故や事件から地域の安全を守る働きについて予想や学習計画を立てたり、見直したりして、学習問題を追及し、解決しようとしている。 ②学習したことをもとに地域の安全を守るために自分たちができることを考えようとしている。

5. 目指す子どもの姿にせまるための授業改善の5つの視点

(1) 教材化について ～社会的事象を身近に捉えることができるように～

本単元を通して、事故・事件は身近に起こるものだという意識を改めてもち「自分たちも地域の一員として安全な暮らしを守っていくために何かできることがあるはずだ」と気づき、一人一人の今後の生活に生かしてほしいと考えました。そのために、警察署や関係機関の働き、標識や110番の家などの設備や施設、地域の方の協力という3つの視点から地域の安全を守る仕組みを理解できるよう教材化しました。これらの視点は「消防」の学習でも生かせるようにし、「警察（事故・事件）」「消防（火事）」を「地域の安全を守る働き」という1つの内容のまとまりとして捉え、それぞれの学習のつながりを意識して「自分たちに本当にできること」を考えられるようにしました。

(2) 学習過程について ～一人一人がこれからの生活につなげられるように～

単元の導入では「市内の事故発生件数」の資料を提示し、「市内の事故発生件数はどうして減っているのか」ということに問題意識をもたせるようにしました。調べていく中で、警察だけでなく、地域とも協力・連携しながら人々の安全や命を守る取組をし続けていることを捉えられるようにしました。地域で事故・事件の未然防止に努めている様々な立場の人たちの協力・連携により、自分たちの安全が守られているという社会の仕組みを理解することが大切だと考えました。単元の終末に「子どもが関わる事故発生件数」の資料を提示し、件数が増加していることに危機感を感じ、今後も身近に起こりうる事故・事件に対して、地域の一員として何とかしなければならないという思いをもてるようにしました。

(3) 学習活動について ～学習の見通しをもち主体的に考える学習活動～

本単元では、はじめに身の回りの危険について話し合い、考える時間を設定しました。これまでの生活経験で危ないと思ったことについて考えることで、事故や事件が減ってきていることへの問題意識が高まり、安全を支える人々の努力や設備について視点をもたせられるようにしました。子ども達の予想を「ひと」と「もの」に整理し、問題解決に向けて何を学習するのかを明確にする学習計画を立てることで、単元を見通すことができると考えました。本単元で立てた視点や学習計画は次の消防の学習にもつなげることで、より単元の見通しをもった学習になると考えました。

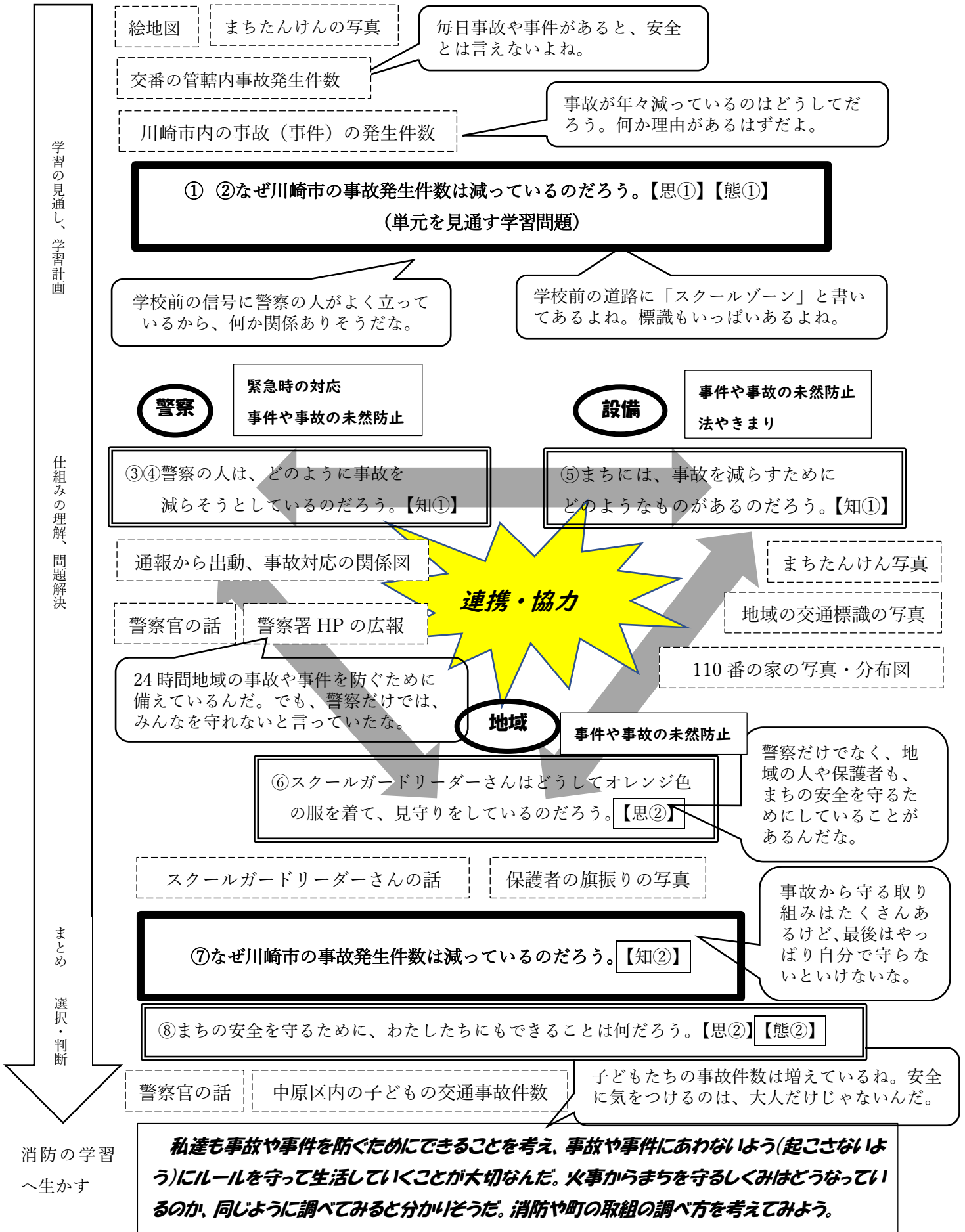
(4) 指導と評価について ～子どもの思考の価値づけを大切にした指導と評価～

「学習問題をつくる→予想する→調べる→考える→まとめる」といった問題解決的な学習の流れを大切に指導し、子ども達が予想を生かして問題解決に向かうようにしました。また、学習の終末でまとめや振り返りを書く場面では、関係図にまとめる方法や振り返りの書き方を丁寧に指導することで、分かったことを整理しながら学びを振り返ることができるようにしました。まとめから児童の理解度を見取ったり、振り返りの内容を価値つけて次時の学習に生かしたりするようにしました。

(5) 一人一人が生きる社会科学習について ～友達の考えに触れ、自分の考えを深める学習～

社会科の学習に限らず、どの教科においてもクラス全体で共有する前に、ペア交流やグループ交流、自由交流をする時間の確保をしました。友達の考えと比べることで自分の考えに自信をもったり、新たな視点や考えを取り入れて深めたりできるようにしました。また、自分の考えに自信がなかったり、うまくまとめられなかったりする子ども達には、周りの人と考えを交流する時間を設けました。

6. 問題解決的な学習の充実につながる単元構想



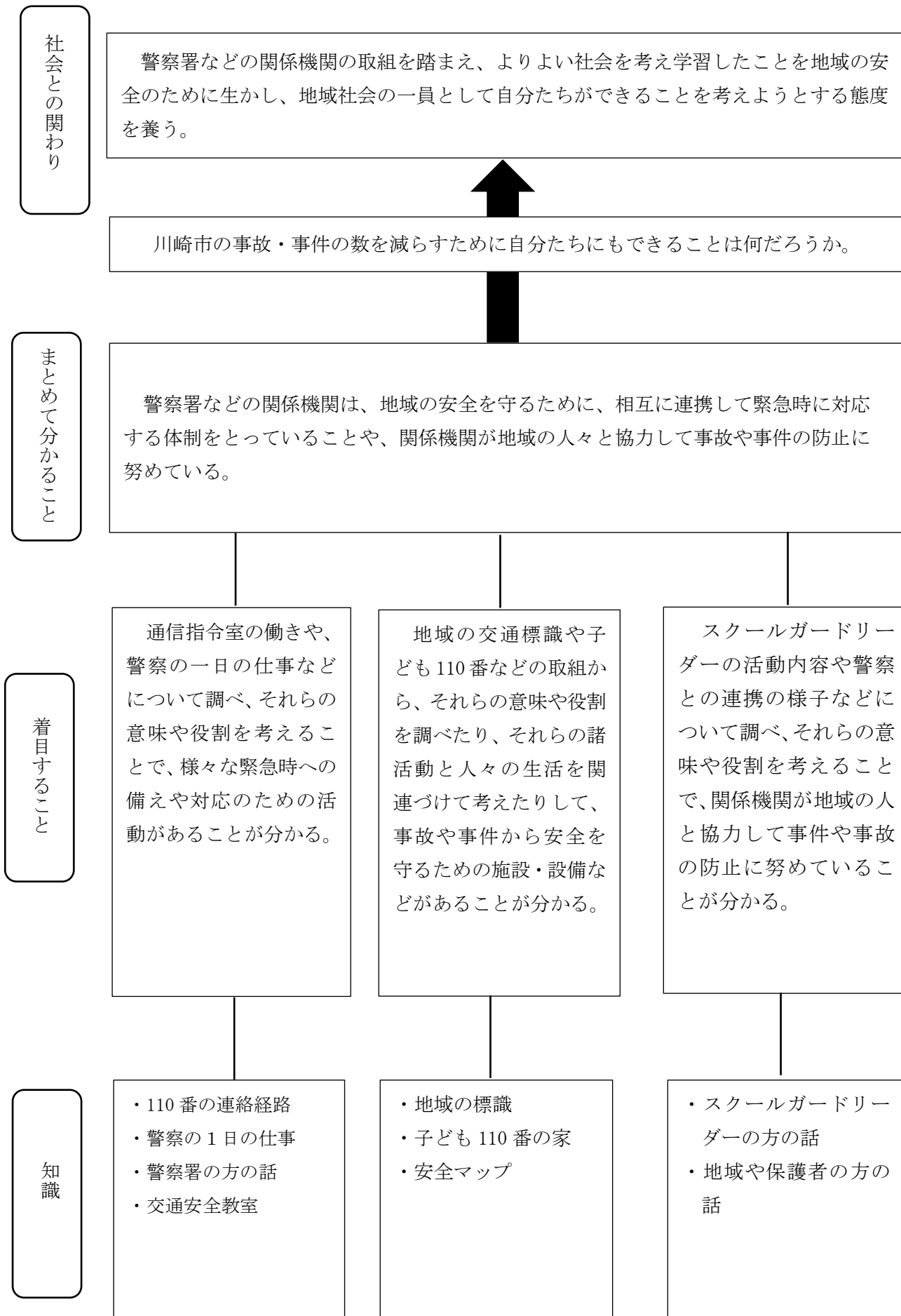
7. 資質・能力の育成に向けた学習評価計画（8時間）

※口は評価したことを記録に残す場面

本時のねらい	○主な学習活動	◇主な資料	評価方法【評価規準】
①②学習問題の解決に向けて予想や学習計画を立てることができるようにする。	○グラフや写真などから学習問題を見出す。 ○学習問題の予想をもち、学習計画を立てる。 (GIGA)	◇学校前の写真 ◇交番にある事故発生件数の掲示	ノートの記述や発言内容から、「安全を守るための関係機関や人々、その働きに着目して、問いを見出しているか」を評価する。 【思一①】 発言やノートの記述内容から、「学習問題の解決に向けた予想や学習計画を立て解決の見通しをもっているか」を評価する。 【態一①】
③警察署の交通事故に対処する仕事に着目し、110番の通報の仕組みをとらえることができるようにする。	○通信指令室と関係機関の人々の働きを調べる。	◇110番の連絡の仕組み	ノートの記述内容や発言から「通信指令室の働きをもとに必要な情報を集め、読み取り、関係機関は事故の際、緊急時に対処する体制をとっていることを理解しているか」を評価する。 【知一①】
④警察の仕事に着目し、地域の安全を守るための活動について理解できるようにする。	○警察署の方の話を聞いたり、仕事を観察したりして、警察署の人たちの仕事を調べる。	◇警察の一日の仕事 ◇警察署の人の話	ノートの内容から、「警察署の方の話を聞いたり、資料で調べたりして必要な情報を集め、読み取り、警察の諸活動を理解しているか」を評価する。 【知一①】
⑤交通事故を防ぐための施設・設備に着目し、その役割や交通ルールを守る意味について理解できるようにする。	○地域の安全を守る施設や人々の活動について調べる。	◇地域にある交通標識の写真	ワークシートやノートの記述内容から、「地域の事故や事件を防止する取り組みを調べ、関係機関や地域の人々は事故や事件を防止する体制をとっていることを理解しているか」を評価する。 【知一①】
⑥事故を防ぐための地域の人々の活動に着目し、警察と連携して活動していることを理解できるようにする。	○地域の人たちが安全を守るための活動について調べ、活動の意味を調べる。	◇スクールガードリーダーの話	ノートの記述内容から、「連携・協力している関係機関の働きを比較・分類したり、関連付けたりして警察署などの関係機関に従事する人々の活動と地域の人々の生活を関連付けて、従事する人々の働きを考えているか」を評価する。 【思一②】

<p>⑦事故や事故から安全を守る人々の働きについてまとめることができるようにする。</p>	<p>○関係図を作り、事故や事件に対応したり、防止したりする警察や関係機関の働きをまとめたことを基に説明する。</p>	<p>◇これまでの学習で使った資料 ◇関係図</p>	<p>ノートの記述内容から、「調べたことを図表や文にまとめ、警察署などの関係機関は地域の安全を守るために、相互に連携して緊急時に対処する体制をとっていることや、関係機関が地域の人々と協力して事故や事件などの防止に努めていることを理解しているか」を評価する。 【知一②】</p>
<p>⑧地域の安全を守るために、自分たちができることを考えようとする態度を養う。</p>	<p>○地域の安全を守るために自分ができることを選択・判断し、伝え合う。 ○今までの学習を振り返り、地域の安全を守るために自分たちができることを考え、まとめる。</p>	<p>◇警察・スクールガードリーダーさんの話 ◇中原区での子どもが関わる事故発生件数</p>	<p>発言やノートの記述内容から、「連携・協力している関係機関の働きを比較・分類したり、関連付けたりして学習したことを基に地域や自分自身を守るためにできることを考えたり選択・判断したりして表現しているか」を評価する。 【思一②】</p> <p>発言やノートの記述内容から、「学習したことを基に安全をまもるためにできることを考えようとしているか」を評価する。 【態一②】</p>

資料. 「社会のしくみ」と「社会との関わり」をつなぐ理解の構造図



ともに生きる未来を創造し、よりよい社会の在り方を問い続ける社会科学習

★3年生として目指す子どもの姿

社会的事象を身近に感じ、親しみをもつ子
見通しをもち、主体的に学ぶ子

社会的事象を自分事として捉え、地
域社会の一員としての自覚をもつ

自ら進んで学習に取り組んだり、意見を
述べたりして進んで学ぶことができる

★3年部会重点

資質・能力の育成に向けて
学習への見通しをもって主体的に学ぶためのよりよい学習活動の工夫

3年生で育まれていく資質・能力の一つとして、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や地域社会に対する誇りや愛情を養うこと、地域社会の一員としての自覚が挙げられます。本単元では、見通しをもち「どのように安全が守られているのか知りたい」「次はこれについて調べてみたい」という意識をもつことができるよう、調べる視点を明確にして主体的に学習に取り組みました。

★研究の重点①

社会的事象と子どもをつなぐ学習過程

3年生で学ぶ安全を守る働きには「警察」「消防」の2単元が含まれています。教師が2つの単元のつながりを意識して単元構想をしていくことで児童は学習を終えた時に改めて安全について考え、「様々な取組によって自分たちの安全が守られている」ということについて気づくことができるのではないかと考えました。そこで1時間目に「身の回りの危険」について児童が話し合い、考える時間を設定しました。また、6時間目にはスクールガードの人に焦点を当てて学習を進めました。普段何気なく関わっている人の思いを知ることで、地域への愛着をもつことにつながるのではないかと考えました。単元の終末には自分たちができることを考える選択・判断の時間があります。学んだことを生かしながら交通安全の視点だけでなく、学校内など普段の生活から安全な生活が送れるようにしたいと、学んだことから考えるようにしました。

★研究の重点②

見通しをもって学ぶための学習計画づくり（学習活動）

4・5時間目には、交通安全を守るために活動している警察の働き、地域にある設備、地域の人々の取り組みに着目できるよう、予想を交流する活動を計画しました。児童の予想を板書にまとめ、何について調べるか、どのように調べるのかを考えました。子どもの予想から調べる視点や解決方法を知ることで見通しをもって学ぶことができるのではないかと考えました。また、本単元の導入では1時間目に単元を見通す学習問題を立て、2時間目に予想を話し合いました。1時間目に問題意識をもつことで本時までに「自分でも調べてみよう！」と意欲的に行動する姿を目指しました。